

## 島根県の水田地帯のコハクチョウ とマガンの群れ

内 田 映

安来市宇賀荘町の能義平野の水田地帯には、中海の白鳥渡来地、米子市の彦根干拓地からコハクチョウの群れが昼間に来て採餌、夜は彦名へ帰っていることは、よく知られていることであった。

然し十年程前に病気をして服薬の身となってからは、特に冬は要注意の体となって、白鳥とのおつきあいは絶えていた。

ところが今年1月26日に、自家用車で勤める人があったので、好天気の日帰りでもあったので好意を受けることにした。

稲刈り後の冬の水田で採餌しているコハクチョウの大群を初めて見る事が出来て嬉しかった。更にマガンの群れまで一緒にいるのも発見して珍しかった。

尚同行の角田氏は時々この地を訪ねて、写真も沢山撮影しておられるが、マガンの群れと一緒にいたコハクチョウの群れは、初めてとのことであった。



コハクチョウとマガンの群れ

安来市宇賀荘町の水田

平成4年1月26日